

五十周年より六十周年まで

昭和一三年

四月二十九日 天皇節、渡瀨練兵場における觀兵式に参加し元氣旺盛にしてよしと批評さる。長樂増徴名列外に出さる

五月九—一三日 連夜のストームに生徒課より惣代に取締る様違しあり

五月二〇日 徐州陥落に提灯行列

五月二十五日 臨時試験中なるにストーム亂發

六月七日 生徒課より「風紀取締嚴重に且積極的に出る」旨達しあり(主としてストーム)

六月八—一〇日 右の反動にヤストーム又連發す

一〇月二七日 漢口陥落

一〇月二十九日 ヒトラー・ニューゲント來熊

昭和一四年

一月二三日 鬼狩

二月 便所の壁に戦争論紛々、相當反戦空氣強し

二月一六日 寮歌原稿中二篇時事問題にふれてゐる故を以て削除さる

七月三日 阿蘇道場立案出づ(成立)

七月九日 寮惣代強制變則の處置に出づ

十一月十一日 新市街に所謂學生狩突如行はる

昭和一五年

一月三〇日 添野校長新任

二月九日 山形教授逝去

五月五日 ポートレース、街頭ストーム事件

九月 此頃内務、文部省より細々禁令出づ

一〇月七日 長樂の廉で寮生十三名警察へ召喚さる

一〇月十七日 球磨川下り(剛健旅行と變名變形して)

十一月一〇—一二日 二千六百奉祝日、トリケンケン許可、大あば

十二月一六日 寮歌發表「興亡の民雄叫びて」

昭和一六年

二月 先輩の新体制下の寮についての關心大いに高し

二月一〇日 送別晚餐會に武夫原亂舞取止め

四月五日 新寮生誓詞掲額式

每朝食堂にて綱領唱和始まる

九月一七日 龍南學徒團體結成さる

九月三〇日 寮歌發表「流星い逝き人去りて」

一〇月二三日 現二年生は明年九月卒業と決定 徴兵延期短縮

十一月一七日 幹事會に於て寮の建増決議さる

十一月一八日 全校の校外勸勞作業樂題まる

十二月八日 大東亞戰爭勃發

昭和一七年

一月一八日 全國一体主義大日本學生團員來り懇談

- 四月一八日 第一回本土空襲
- 七月一日 酷暑ホツタ、ボタン二個を外して歩くことを許す
- 一〇月一〇日 創立記念講演、大川周明氏「大東亜共榮圏の歴史の基礎」
- 一〇月二三日 所謂「學生狩」行はれ無法なる檢束を見る
- 一二月四日 文部省より村田大佐視察宿泊、寮の陸士海兵化を出版す
- 昭和一八年
- 一月一八日 来るべき新學年よりの學制改革
- 高校二年、二十四時間教育、全寮制、文部省修練要項
- 寮生大會
- 禁煙：煙草焚捨を行ふ（午後十二時）
- 高校の新要項による轉換
- 四月一日 寮母來る
- 四月三日 寮母來る
- 六月四—一〇日 終夜燈の自習室設置を要望するも容れられず
- 六月一九日 野球追放のため野球マツチ禁せらる
- 六月二八日 教練査閲 さんく、貶さる
- 九月二二日 學徒出陣決す
- 昭和一九年
- 四月十一日 華國隊防空補助隊を編成
- 五月一日 四寮新館落成式舉行 三年生動員決定
- 五月二日 生徒課獨斷により次期寮惣代を總務兼任と發表
- 五月四日 總代、總務兼任不可を生徒課へ達す
- 五月二日 文理科三年動員出發
- 五月一七日 特別防護編成
- 五月二五日 楠公祭を催す
- 六月一五日 B29第一回本土空襲
- 七月一四日 文科二年出陣
- 七月二〇日 節力節約のため寮日課變更 東條内閣總辭職
- 七月二七日 一八年度寮歌發表「嵐みくにの鐘鳴りて」
- 八月 名も變更して夏休（わづか十日間）
- 九月五日 陸軍航空本部の工具二百五十体育館に宿泊
- 九月六日 理科二年動員令下る
- 九月一六日 幹事任命の揭示刺ぎ取らる
- 九月二七日 新校長本島一郎氏就任
- 一〇月一八日 兵役法改正、滿十七才より第二國民兵として防衛召集さる
- 十一月三日 はじめて非常呼集を行ふ（この後しばしば）
- 昭和二〇年
- 一月一〇日 文科一年動員出陣
- 四月一九日 全校出陣
- 七月一日 新入生入寮 夜半熊本機爆
- 七月八日 義勇隊結成式
- 八月一五日 終戦（日本無條件降伏）

そ の 後

高校三年制復活
頭髪、禁煙その他の禁示ゆるむ、報國隊其他職時團體解散、生徒
陳の機構變革、生治課、厚生課の設置

昭和二十二年

一〇月 六十周年記念祭

(總務部)